

No.151
県議会
とちぎ

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20
 TEL 028-623-3772
 FAX 028-623-3755
 E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
 HPアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>



第395回通常会議(令和5年6月7日～6月29日)

栃木県手数料条例の一部改正等を可決

第395回通常会議では、知事から栃木県手数料条例の一部改正や栃木県副知事の選任同意など、12件の議案の提出及び11件の報告があり、審議に当たり質疑・質問や委員会審査が行われました。

また、議員から新型コロナウイルス感染症の5類感染症変更後の対応に関する意見書や带状疱疹ワクチンの定期接種化及び接種に対する助成制度の創設を求める意見書など4件の議案が提出され、全て原案のとおり可決されました。

- #### 可決された主な議案
- 栃木県手数料条例の一部改正について
 - 栃木県ライフル射撃場設置、管理及び使用料条例の一部改正について
 - 栃木県体育施設設置、管理及び使用料条例の一部改正について
 - 栃木県警察関係手数料条例の一部改正について
 - 栃木県人事委員会委員の選任同意について
 - 栃木県副知事の選任同意について
 - 議員派遣について

- #### 可決された意見書
- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症変更後の対応に関する意見書
 - 带状疱疹ワクチンの定期接種化及び接種に対する助成制度の創設を求める意見書
 - 長期化する物価高騰等から国民生活を守るためのより効果的な支援策を求める意見書



県議会正副議長インタビュー



栃木県の未来を見据え、
 県政の発展に尽力するとともに、
 二元代表制の一翼を担う県議会として
 活発な議論をしております

戦後県政史上最年少議長と共に、
 若さを生かして
 現代にふさわしい議会運営に
 取り組んでまいります

さとう りょう
佐藤 良 議長(第110代)

(会派名) とちぎ自民党議員会
 (選挙区) 壬生町
 (期数) 5期

せきや のぶゆき
関谷 暢之 副議長(第117代)

(会派名) とちぎ自民党議員会
 (選挙区) 那須塩原市・那須町
 (期数) 4期

Q1. 特に力を入れて取り組みたいことは？

佐藤 議長 **郷土愛の醸成、女性活躍社会の実現に取り組む**

今年、本県誕生から150年の節目を迎える中で、G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催されたところであり、これを契機として、県民の郷土愛の醸成を図るとともに、男女共同参画や女性がより活躍できる社会の実現を目指してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となり、社会経済活動の回復に取り組む機会を迎えていますが、人口減少や物価高騰などいまだ厳しい社会情勢にもあることから、経済発展に向けた中小企業支援や、安心して結婚し、子育てできる環境づくり、高齢者が安心して住み続けられる地域づくり、さらには、栃木県に移り住んでもらえる環境づくりに取り組んでまいります。

さらに、近年、災害や感染症など予測できない事態が発生し、県議会の果たす役割は大きくなっています。本県では通年議会を導入しており、こうした不測の事態に迅速に対応してまいります。また、デジタル社会が進む中で、更なる議会のICT化に取り組むとともに、県民に身近で開かれた県議会を目指して、電子媒体による議員紹介や、公式Twitter等による情報発信にも取り組んでまいります。

関谷 副議長 **政治と県議会への関心の向上に取り組む**

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会やG7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合、本県誕生150年といった大きなイベントのレガシーをいかに継承して、本県の活力向上と発展に結びつけていくかということが大きな課題となると考えています。

また、急速な人口減少やデジタル社会への対応、そして、カーボンニュートラルをはじめとした地球規模の環境問題への対応が求められるなど、時代は大きな転換期を迎えており、これらの問題にいかにか柔軟かつ適切な対応を図っていきけるかが、これからの栃木の未来像を大きく左右すると考えています。

さらに、今回の県議会議員選挙における投票率の低下を真摯に受け止め、投票率の向上、特に若い方々に政治と県議会に関心を向けてもらえるように取り組んでまいります。

Q2. 県民の皆様へのメッセージ

佐藤 議長 **本県の未来を見据え積極果敢に挑戦する**


厳しい時代だからこそ県民の皆さんと課題を共有し、その課題の解決に向けて積極的に取り組んでいく必要があると考えており、今後の本県の未来を見据え、明るい栃木、そして、明るい未来に向けて積極果敢に挑戦していきたいと思っています。

関谷 副議長 **期待と信頼を寄せられる議会運営に努める**

二元代表制の一翼を担うこれからの時代に求められる県議会があるべき姿をテーマとしながら、県民の皆さんの声をしっかりと聞き、期待と信頼を寄せただけのような議会運営に努めていきたいと考えています。

このインタビューの様子は、広報番組「県議会ハイライト」(とちぎテレビ)で放送します。

【放送日時】8月6日(日)17時20分～18時00分
 (8月10日から右の二次元コードからもご覧いただけます。)






第395回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容



代表質問 (6/9)
いわさき まこと
岩崎 信
(とちぎ自民党) [芳賀郡]



○スポーツの活用による地域の活性化

問 大会、イベント、合宿誘致などによりスポーツツーリズムを推進し、県内外から多くの人々を呼び込み、地域活性化を図る必要があると考えるが、どのように取り組むのか。

答【知事】スポーツコミッションの7月末の設立に向け、市町や県内プロスポーツチーム、民間企業などの関係者と準備を進める。観光分野等との連携も強化しながら、国際大会も含めたスポーツ大会やイベント、合宿等の誘致に積極的に取り組む。専用のホームページやSNS等を活用し、温泉や食、歴史、文化などの観光情報も発信する。サイクルツーリズムやアウトドアツーリ

ズムに加え、外国人のニーズが高い武道など新たなスポーツツーリズムの検討を進める。

○農村地域の活性化

問 若い世代を中心に、農業への関心が高まる一方、農村地域は高齢化や担い手の減少で厳しい状況にある。田園回帰の流れを捉え、農村地域の魅力を積極的に発信し、人を呼び込み、活性化していくためにどのように取り組むのか。

答【知事】SNS「とちぎの農村めぐり」の新規開設や、11月に本県で開催される全国農林水産物直売サミットなどにより、とちぎの農村ファンを増やしていく。また、農村地域への移住・定住については、就農支援サイト「トチノ」による発信や、オーダーメイド型の支援を行うほか、中山間地域において、新たに設置する県協議会において暮らしと農業の一体的なサポート体制づくりを進める。

このほか 少子化・人口減少、栃木県誕生150年記念行事など

一般質問 (6/9)
つちや あきこ
土屋 晃子
(民主市民) [那須塩原市・那須町]



○食育の推進

問 循環型社会や環境問題の視点を取り入れるなど、時代の変化を踏まえた食育の推進を図るとともに、多様な関係者が意欲的に活動できるよう、部局を越えて連携し、各部局の施策に積極的に食育の視点を取り込む必要があるが、今後どのように取り組んでいくのか。

答【知事】食と農への理解促進、食品ロス削減に向けたとちぎ食べきり15運動の展開、栄養バランスの取れた食生活の推進、ボランティアを通じた食育の普及等に取り組むほか、人や社会、地域、環境に配慮した消費活動(エシカル消費)に関する意識啓発や環境に配慮した農産物の消費拡大など、関係部局で構成した食育推進本部を中心に

市町等と協働して時代の変化に対応した食育を推進する。

○特別支援教育の在り方

問 那須及び栃木の特別支援学校の寄宿舎の閉舎延期を決定してから現在まで、なぜ保護者等に対し今後の方針等の説明を行っていないのか。また、寄宿舎の在り方を含めた特別支援教育の充実に関し、今後どのように検討を進めていくのか。

答【教育長】全ての特別支援学校から現状等について聴き取りを行うなど、改めて必要な対応等を検討することに注力してきた。その結果、更に幅広い視点からの検討が必要と判断したところであり、有識者等から成る検討会を設置した上で、特別支援学校の教育の充実に向けた検討を行う。

このほか 避難所の運営における県と市町との連携、鳥獣被害対策の担い手の確保と育成など

一般質問 (6/9)
しおだ ひとし
塩田 ひとし
(県民) [足利市]



○地域公共交通の充実

問 地域公共交通の充実のためには、市町と連携して地域差がない交通体系の構築を図るとともに、自治体の財政状況や民間事業者の経営状況に影響を受けにくい運営体制を築くことが重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか。

答【県土整備部長】市町が運営する生活交通への運行費補助、公共交通空白地における地域共助型生活交通の導入支援、バスやデマンド交通等の公共交通体系を再構築する市町の取組支援等のほか、自動運転の実証実験やICカード導入支援など新技術等の活用にも取り組んでいく。

○人間力の向上に向けた心の教育の充実

問 子どもの自殺等悲惨な出来事の根本的な要因は、学力以外の個性や能力を認められないことにより適正な自己評価ができず将来の夢に挑戦する意欲を失うなど健全な心を十分に育てられていないことにある。学力偏重主義から人間力向上主義に教育システムを転換し心の教育を充実することが重要と考えるがどうか。

答【教育長】学校と地域が連携して行う体験活動や高齢者との交流活動等により生命を尊重する心、思いやり、社会性等を育むほか、教育相談等により悩みや困難の解決を援助するなど人間としての在り方や生き方についての自覚を深められるよう、個々の児童生徒の発達段階や置かれた状況に応じた助言に努めていく。

このほか 共生社会の実現に向けた地域連携の促進、地域経済の成長に向けた継続的な質上げの実現など

一般質問 (6/13)
こすげ てつお
小菅 哲男
(とちぎ自民党) [さくら市・塩谷郡]



○再びの豪雨災害を見据えた流域治水

問 令和元年東日本台風は、大きな河川のほか、小規模な河川においても氾濫が多数発生し、農地等への被害があったため、流域治水プロジェクトによる取組を着実に進めるとともに、小規模な河川の治水能力向上にも力を入れる必要があると考えるが、どのように取り組むのか。

答【県土整備部長】令和元年東日本台風で被害が甚大であった河川について、改良復旧事業を推進している。また、河川整備計画に基づき順次整備を進めるほか、堤防強化や堆積土除去などを進める。さらに、小規模な河川においても、堆積土除去などを積極

的に行うほか、田んぼダムの整備など、流域治水の推進に取り組む。


○県産米の生産振興と消費拡大

問 米の生産について、県産米の需要拡大に確実につなげるために、とちぎの星を中心に収益性の高い米づくりを更に推進するとともに、若者等への県産米のPRや普及等に積極的に取り組む必要があると考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。

答【農政部長】スマート農業導入等による生産コストの低減や、食味向上による売れる米づくりを推進していく。また、とちぎの星について、作付拡大を図るとともに、魅力ある商品づくりを進める。さらに、「栃木県民ごはんの日」運動の定着に取り組むほか、県内外のおにぎり専門店でのフェアの開催等を支援し、消費拡大を図っていく。

このほか こども・子育てに優しい栃木県づくり、栃木県の危機事象への対応力強化など

一般質問 (6/13)
のむら せつ子
野村 せつ子
(共産党) [宇都宮市・上三川町]



○国の大軍拡計画に対する知事の政治姿勢と地方への影響

問 国の安全保障政策の大転換と大軍拡計画による、反撃能力、敵基地攻撃能力の保有は、専守防衛を投げ捨て、憲法9条に反するものであり、国民が物価高や教育費の負担で苦しんでいるときに、軍事最優先の税金の使い方は許されない。このような国の政策等を支持するのか、また、県民生活や地方自治体にも大きな影響を与えると考えるが、どのように認識しているのか。

答【知事】安全保障や防衛政策は国の専権事項であることから、財源も含めて、国の責任において国民の理解が得られるよう、丁寧な説明のもと、しっかりと議論されるべきものと考えている。

○国民健康保険の保険税水準統一化と保険証のマイナンバーカード一本化

問 県の保険税水準の統一の方針策定は、均等割廃止・減額などの対策を講じた後に検討すべきではないか。また、問題だらけの保険証のマイナンバーカード一本化は、県民の命と情報、権利を守るため、紙の保険証を併用するなど見直しを国に求めるべきではないか。

答【保健福祉部長】昨年度から市町や有識者等と協議を重ね、保険税水準の統一の考え方等について概ね一致しており、市町や被保険者の過度な負担とならない安定的な運営に移行できるよう協議していく。また、マイナンバーカードと保険証の一体化について、県としては、保険診療等に支障が生じないよう、全国知事会等を通じて、国に必要な意見を伝えていく。

このほか 学校給食費の無償化、那須・栃木特別支援学校の寄宿舎存続と今後の検討など

一般質問 (6/13)
かねこ むさし
金子 武蔵
(とちぎ自民党) [宇都宮市・上三川町]



○不登校への柔軟な取組の推進

問 本県公立学校の不登校児童生徒数が年々増え、その状況は様々である。当事者を追い詰めることのないよう配慮が必要と思うが、不登校の子どもたちをどのように支援していくのか。また、今後どのように当事者である子どもたちや保護者の心に寄り添い、教育機会確保法の趣旨に沿った不登校対策に取り組んでいくのか。

答【教育長】県教育委員会と市町が連携し、児童生徒に寄り添った訪問型支援を行うとともに、民間団体作成の相談機関等情報掲載資料を親の会も参加する連絡会で活用を促進するほか、教員や管理職の研修会等を通じ、法の趣旨に基づく支援の充実を図っていく。

○性的少数者への理解促進と性的指向・性自認の諸課題～現場の諸課題を踏まえた対応～

問 トランス女性が女性用施設を利用する場合、性的少数者への配慮も大切だが、海外では性犯罪や訴訟が多発している中、女性や女児の安全・安心の確保も非常に重要である。価値観が多様化し権利がぶつかり合う難しい課題だが、拙速に議論を進めるのではなく、海外の事例等も参考に様々な意見を丁寧に聴き、慎重に議論を深めることが重要と考えるがどうか。

答【生活文化スポーツ部長】現在法案審議中であり、施設利用も含め国の動向を注視しながら必要な情報収集に努めていく。引き続き、当事者はもとより様々な立場の方の意見や思いを丁寧に受け止めながら、性的マイノリティへの理解促進に努めていく。

このほか フードバンクや子ども食堂への県としての支援、教員の長時間労働の解消など



質疑・質問日 令和5年6月9日、13日、14日

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。



一般質問 (6/13)

はやかわ けいこ
早川 桂子
(とちぎ自民党) [佐野市]



○伝統工芸品のブランド力向上

問 伝統工芸品の持つブランド力を高め、新たな需要を喚起することは、伝統工芸品の持続的な発展につながり、先人たちが築き上げたものづくりの精神と技術の後世への継承に寄与するものと考えているが、県は、天明鑄物をはじめとした伝統工芸品のブランド力向上にどのように取り組んでいく考えか。

答 【産業労働観光部長】人材育成や認知度向上を図ってきたほか、産地組合等にブランディングデザイナーを派遣し、新商品の企画・開発やPR動画の作成を支援しているところであり、本県が誇る伝統工芸品の需要の拡大を図り、未来に向けて継承、発展

することができるよう、ブランド力の向上に取り組む。

○林道作原沢入線の治山事業

問 林道作原沢入線は、平成29年度に全線が開通したが、平成31年4月の豪雨により、地蔵山において山腹崩壊が発生し、現在は林道管理者である佐野市により、一般車両は通行止めとなっている。県では土砂の流入を抜本的に防止するため、のり枠工事等を実施するとのことだが、治山事業の見通しはどうか。

答 【環境森林部長】令和3年度から治山事業に着手したところであり、のり枠工事を順次実施し、事業の年内完了を見込んでいる。今後とも佐野市と連携を図りながら、令和5年度末の通行再開に向け、治山事業の早期完了に努める。

このほか 障害者支援の現状と課題、地域未来投資促進法等を活用した企業誘致の推進など

一般質問 (6/14)

ことより まさお
琴寄 昌男
(とちぎ自民党) [栃木市]



○Web3.0等の先端技術を活用したDXの推進

問 デジタル分野の技術革新のスピードは速く、常に新たな動きを捉えて対応していくことが重要であることから、DXの推進に当たっては、Web3.0等の最先端の仕組みや関連技術を踏まえながら進めていく必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか。

答 【知事】Web3.0等の先端技術を通じて、地域に新たな産業やサービスの創出も期待されていることから、Web3.0等の活用に関する国の法令や環境整備の状況を注視するとともに、DX牽引企業を通じた情報収集や県内外の先進事例の調査等を行い、先端技術を地域の活性化にも活用で

きるよう、研究を進めていく。

○県立学校への国際バカロレアの導入

問 世界に通用するグローバルな人材を育成するために有効な国際バカロレアによる教育について、本県には導入している認定校はなく、県立高校の在り方検討会議の提言では、「早期の導入が望まれる」とされていることから、現在検討中の次期県立高等学校再編計画にしっかりと位置付けるなど、取組を進めていくべきと考えるがどうか。

答 【教育長】国の動向や、有識者会議の提言等を踏まえ、先行事例の成果と課題を更に精査するとともに、本県が実施しているSTEAM教育など、他の探究的な学びの手法の成果も検証しながら、引き続き導入の可能性を検討していく。

このほか 文化観光の推進による地域活性化、歯と口腔の健康づくりの推進など

一般質問 (6/14)

ゆざわ ひでゆき
湯澤 英之
(新鹿) [鹿沼市]



○高齢者等の暮らしを守るための取組～高齢者が暮らしやすい社会の構築～

問 高齢者等の移動手段の確保のため、公共交通機関の整備にしっかり取り組むべきである。県は、地域公共交通計画の策定を進めているが、県、市町、民間事業者、利用者の四方良しを目指すべきと考える。地域公共交通の次のステージをどのように描くのか。

答 【知事】誰もが安心して快適に暮らし、社会活動が営めるよう、公共交通サービスの確保・充実等に取り組んでいる。さらに、交通系 IC カードや MaaS等の導入を推進するほか、無人自動運転技術の実装を目指して実証実験を行うなど、利便性の高い公共交通サービスの実現を目指していく。

○安心して子育てできる環境をつくる取組～子どもを産み育てやすい環境づくり～

問 物価高騰等で多くの方が非常に苦しい状況にある中、国は、生活に苦しむ子育て世帯等に対して給付金の支給などの対策を講じており、県も取組を強化していくべきである。所得や地域等に関係なく、安心して子育てできる環境の実現にどう取り組むのか。

答 【保健福祉部長】保育所等の整備や多子世帯への保育料等の減免に加え、こども医療費助成制度の拡充、新生児の先天性代謝異常等検査の対象疾患の拡大を行った。また、ひとり親世帯に対しては、生活資金等の貸付や児童扶養手当受給者への特別給付金の速やかな支給などの支援をしており、子育て支援施策の更なる充実に取り組む。

このほか ヤングケアラーへの支援、いちご王国・栃木の更なる飛躍など

一般質問 (6/14)

こばやし たつや
小林 達也
(とちぎ自民党) [那須塩原市・那須町]



○国家中枢機能のバックヤード構想の推進

問 国家中枢機能を分散させ災害リスクを軽減する「バックヤード構想」の議論が有志国会議員により進められている。私は、最適な場所は那須地域しかないと考えており、国で議論している新たな国土形成計画の広域地方計画が策定される際には、県は適地として名乗りを挙げ、バックヤード構想を推進する姿勢を示すべきと考えるがどうか。

答 【知事】国土形成計画全国計画の原案には、「人口や諸機能が分散的に配置される国土構造の実現」「中枢管理機能のバックアップの強化」等の考え方が盛り込まれた。この方向性が、今後策定される広域地方計画にどのように反映されていくのか情報収集し、

必要な対応について検討を進める。

○今後の観光誘客

問 コロナ禍で深刻なダメージを受けた観光産業を再生するには、訪日外国人旅行者の誘客や滞在の長期化が重要であり、市町や観光事業者等と連携しながら、地域を満喫できる仕掛けづくりに積極的に取り組むべきと考えるが、海外からの観光誘客にどのように取り組むのか。

答 【知事】外国人観光客が本県を巡るツアーの造成を促すため、旅行会社への助成を開始したほか、海外現地で情報発信を行う「観光レップ」を台湾に加え、新たにタイ、米国、中国に設置する。また、観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」で、那須及び周辺地域エリアがモデル観光地に選ばれたため、積極的に後押ししたい。

このほか 県道那須高原線における渋滞対策、酪農振興など

一般質問 (6/14)

いけだ ただし
池田 忠
(とちぎ自民党) [大田原市]



○農業振興～耕畜連携の推進～

問 肥料や家畜飼料の価格高騰が農家の経営に大きな影響を及ぼす中、県は、堆肥の有効活用や飼料増産を進めるべきであり、そのためには、畜産農家と耕種農家の連携が重要であると考えているが、耕畜連携を今後どのように推進していくのか。

答 【農政部長】耕畜連携の推進に当たっては、耕種農家と畜産農家が互いのニーズに的確に対応できる仕組みづくりが重要であり、「耕畜連携コーディネーター」を各地域に設置するとともに、意欲ある耕種農家等を支援し、飼料生産組織の育成を図っていくなど、地域の実情に合わせた課題解決や事業

を推進していく。


○八溝地域における広域道路ネットワークの整備

問 本県北東部の八溝地域が広域道路網の空白域となっている中、県は、「とちぎの道路・交通ビジョン 2021」において「(仮)つくば・八溝縦貫・白河道路」と「(仮)北関東北部横断道路」を構想路線に位置付けたが、これら2つの構想路線の実現に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

答 【県土整備部長】両路線の整備により、産業振興や周遊観光など様々な効果が期待されることから、これまで勉強会や各種調査を実施してきたところであるが、今後は、概略ルートの設定に向けて、具体的な技術的課題の洗い出しや対応策の検討などを進めるなど関係機関と連携しながら、早期実現が図れるよう努めていく。

このほか とちぎ創生15戦略の今後の展開、中小企業の経営革新の促進など

いま
栃木県議会の「NOW」は
こちらでチェック!!



栃木県議会【公式】Twitter



県議会中継



県議会の日程や質疑・質問の中継案内など県議会の情報をタイムリーにお届けします。とちまるくんも活躍中!フォローして議会の最新情報をチェック!!

本会議(質疑・質問)や予算特別委員会(総括質疑)は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、議会インターネット中継サイトで生中継しています。(映像は手話通訳付き)

#栃木県議会




常任委員会の主な活動

6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に属する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第395回通常会議において所管常任委員会に付託された議案について、6月16日に審査及び採決が行われました。また、県政経営委員会、生活保健福祉委員会、県土整備委員会及び文教警察委員会が県内調査を行いました。なお、農林環境委員会と経済企業委員会の県内調査は、今後実施予定です。

県政経営委員会

付託議案1件の審査を行いました。
また、G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合について報告を受け、質疑を行いました。
7月14日には、消防防災航空隊や総合防災拠点施設の取組について調査をするため、芳賀町及び宇都宮市において、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲消防防災ヘリコプターの説明を受ける委員

生活保健福祉委員会

付託議案3件の審査を行いました。
また、栃木県国民健康保険運営方針(第3期)の策定について報告を受け、質疑を行いました。
7月21日には、栃木県医療的ケア児等支援センター及び県埋蔵文化財センターの取組について調査をするため、宇都宮市及び下野市において、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲音遊びをするケア児と一緒に手拍子をとる委員

農林環境委員会

付託議案3件の審査を行いました。
また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく「促進区域」の設定に関する県基準(案)や令和5(2023)年度新規就農者調査に関する調査結果などについて報告を受け、質疑を行いました。



▲委員会開催時の様子

経済企業委員会

とちぎ職業人材カレッジの開設や令和4(2022)年度栃木県企業局決算の概要について報告を受け、質疑を行いました。
委員からは、産業団地の整備等について意見が出されるなど活発な議論が行われました。



▲委員会開催時の様子

県土整備委員会

付託議案2件の審査を行いました。
また、「とちぎの道 開通宣言2023」、「とちぎの河川・砂防施設 完了宣言2023」について報告を受け、質疑を行いました。
7月には、県内市町からの道路や河川の整備要望箇所の状況を把握するため、各市町との意見交換や現地視察を実施しました。



▲市町と意見交換を行う委員

文教警察委員会

付託議案1件の審査を行いました。
また、STEAM教育推進事業について報告を受け、質疑を行いました。
7月7日には、G7大臣会合開催に伴う警備実施結果及び栃木特別支援学校の概要と教育活動について調査をするため、日光市及び栃木市において、現地視察を実施しました。



▲G7大臣会合開催に伴う警備実施結果を視察する委員

各委員会の正副委員長

5月18日の第393回招集会議において、各委員会の正副委員長が互選により決定されました。

委員会名	委員長	副委員長
県政経営委員会	琴寄 昌男	小菅 哲男
生活保健福祉委員会	高山 和典	平池 紘士
農林環境委員会	岡部 光子	中島 宏
経済企業委員会	早川 桂子	石坂 太
県土整備委員会	金子 武蔵	池田 忠
文教警察委員会	加藤 雄次	渡辺 幸子
議会運営委員会	渡辺 幸子	日向野 義幸・野澤 和一
予算特別委員会	山形 修治	石坂 太

県議会トピックス

栃木県誕生150年記念県民の日イベント(6月10日開催)について

栃木県総合文化センターでオープニングセレモニーが行われ、G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の紹介などがされたほか、県議会議事堂では、宇都宮中央女子・宇都宮中央高校の生徒による合唱などのステージイベントが行われました。



▲オープニングセレモニーであいさつする佐藤良議長



▲県議会議事堂ステージで合唱を披露する生徒

臨時会議(第394回・第396回)

第394回臨時会議が5月22日に開催されました。

エネルギー価格等の物価高騰による家計の負担軽減を図るとともに、新型コロナウイルス感染症に関し、5類感染症への位置付け変更に伴い必要となる医療提供体制を構築するなどのために編成された令和5年度栃木県一般会計補正予算(第1号)が上程され、所管常任委員会の審査を経て、原案のとおり可決されました。

第396回臨時会議が7月5日に開催されました。

平成29年3月27日に発生した那須雪崩事故に関し、国家賠償法に基づき県に賠償を命じる判決が言い渡されたことを受け、損害賠償に要する経費について対応することとして編成された令和5年度栃木県一般会計補正予算(第2号)が上程され、所管常任委員会の審査を経て、原案のとおり可決されました。

県議会からのお知らせ

県議会議員のことをもっと知りたいあなたへ

議員インタビュー YouTubeで公開中!



県議会議員50人全員に県政の課題や今後の抱負等についてインタビューしました。



県議会議員を紹介する電子誌面を新たに作成しました!



とちぎの未来のために日々活動している県議会議員についてもっと知ってみませんか?



次回通常会議の日程

- 9月19日(火) 本会議(開議、議案上程)
- 21日(木)、25日(月)、26日(火) 本会議(質疑・質問)
- 28日(木) 常任委員会
- 10月5日(木) 予算特別委員会(総括質疑)
- 10日(火) 常任委員会
- 12日(木) 本会議(採決、散会)

※午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。詳細は県議会HPでご覧いただけます。



栃木県誕生150年 みんなで創る、未来のとちぎ